

介護でミライをかえていく。
しがけあ
Shiga Care

滋賀県の介護現場で活躍する人たちのストーリーや、
各地で行われているプロジェクトの紹介など、
豊富なコンテンツで介護のシゴトの魅力についてお届けしています。



滋賀県の介護のリアルが
見えてくるっ！

データで見るしがけあ



現場の若手職員7名で結成された
「しがけあアンバサダー」が
アツイ想いをインスタで発信中！

Instagram



主催：滋賀県

介護でミライをかえていく。
しがけあ
Shiga Care

介護のシゴト
やってみた！ 聞いてみた！



少子高齢化がグングン進み、
介護のシゴトがドンドン人手不足になるって
聞いたことはあるけど、介護のシゴトってどんなんだろう？

介護のシゴトのイメージについて
4人の若者に聞いてみました！

介護のシゴトって どんなイメージ？

長く働ける
職種なのかな

体力的に
きつそう、...

りさこ



保守的な
イメージが
あるな、...

まる



みんな無理して
働いていないかな

でいー



利用者さんは
さみしく
ないのかな

最期を看取るの？

どんなリハビリを
するの？

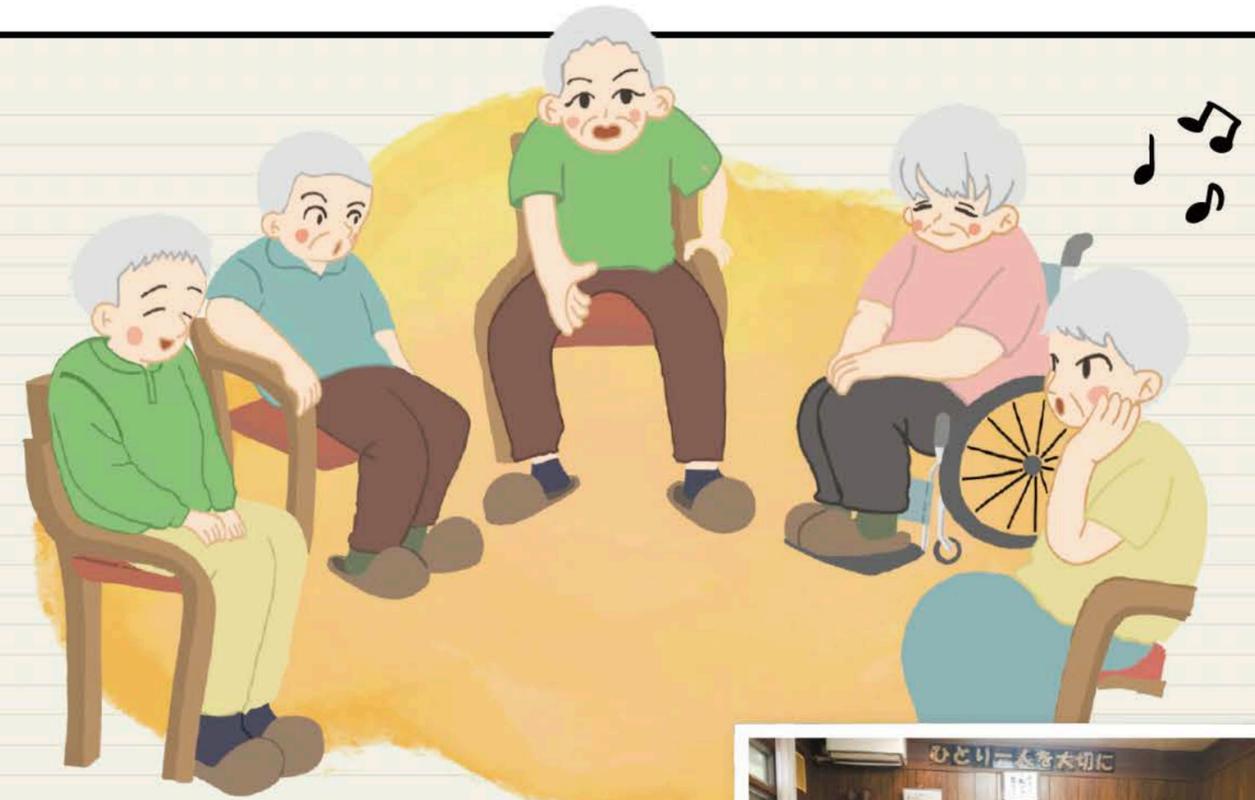
利用者さんたちは
自由があるの？

ショータ



驚き！発見！なるほど～ 介護のシゴト 体験レポート

ふだん介護とあまり縁のない
若者たちが介護の現場に潜入！
介護のシゴトを体験してきました。



遊びもリハビリ “当たり前”が大切なんだ

お互いの顔を見て交流しながらゲームをするのがリハビリになって孤独感や無力感を防ぐことになるのだとか。何気ない“当たり前”をすごく大切にしている。



地域の中にある事業所だから いろんな人が行き交う

グループホームやケアハウスだけでなく、訪問看護やデイサービスなど、たくさんの事業所、人が協力して、地域も一緒に動いているんだと思った。なんとなく孤立したイメージをもっていたんだけど変わったな。

Report 01

社会福祉法人
近江ちいろば会

<https://chiiroba.jp>



“人にしてもらいたいと思うことを人にもしなさい”という理念

入居者それぞれに郵便ポストがあって、自宅と同じように手紙が受け取れたり、外出や外泊も自由にできる。プライバシーや自立心、自由が尊重されているのが発見だった。理念だけでなく建物の構造も利用者さん想いなんだね。



「しんどいことはあるけど、自分がやっていることがダイレクトに相手のためになっていると感じ、日々やりがいを感じる」とお話しいただいた若い職員さん、表情がとてもイキイキしてたなあ。

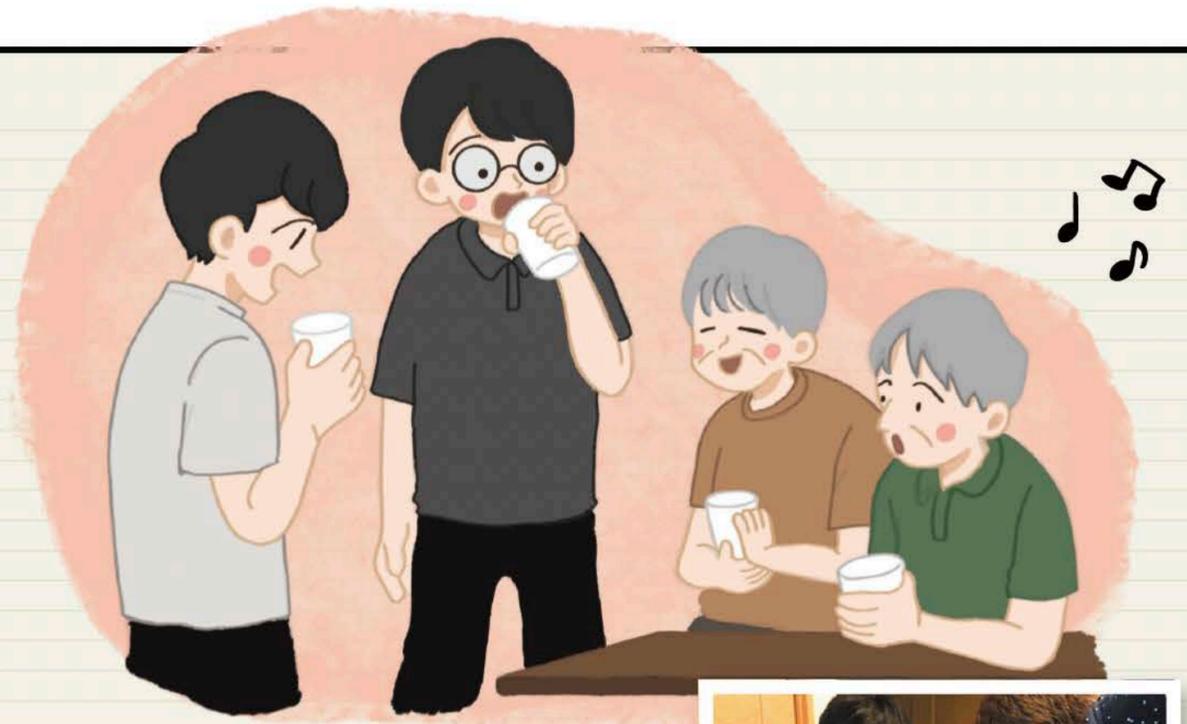


「就職前に想像していたしんどさはなくて、むしろ居心地の良さを感じる」という若手職員さんの話が想像していたのと違って驚きでした。固定観念にしばられず、気楽な気持ちで飛び込んでみるのもいいのかも、と思いました。

Report 02

マザーレイク株式会社

<https://grouphome.jp>



介護する側もされる側も 合言葉は“自分らしく”

「マザーレイク」の理念は“一人ひとりが自分らしく暮らす”こと。利用者さんだけでなく、働く人にも掲げている理念なのだから。関わる人すべての個性を大切にしながら高齢者の暮らしをサポートしているんだって。



機械をうまく使って 体への負担を軽く

利用者さんを抱えない・持ち上げないための機械を積極的に取り入れていて、実際に僕も電動スタンディングリフトを体験したんだけど、力を入れずに立ち上がれてちょっとびっくりした。介護する側、介護される側がしんどくならないように配慮しているんだね。



“看取り”への向き合い方に 目からウロコ

「死をネガティブに捉えるのではなく、最期に自分を呼んでくれたんだと思って見送っている」という職員さんの言葉がとても印象的だったなあ。自分の価値観がちょっと変わったよ。



一人ひとりに合った対応

飲食物が誤って気道に入ることを防ぐため、利用者さんによっては飲み物にとろみをつけるんだって。一人ひとりの立場にたっている工夫しているみたい。

「つらい、しんどい」というイメージが全部変わった訳ではありませんが、職員さん同士の連携や利用者さんとの信頼関係、働くことのやりがいを感じて、大変なことも多いけど愛あふれるシゴトなんだな、と思いました。ちょっと見方が変わりましたね。

介護のシゴトはイメージが先行して敬遠されがちだけど、今回リアルな現場を体験してみて驚きや発見などがたくさんありました。高齢化社会、暮らしに切っても切り離せない介護について、まず皆さんも“知る”ことから始めてもらいたいです！

介護を勉強中の学生に聞いてみた!

介護を勉強中の「しがけあ学生プロジェクト」(びわこ学院大学)の学生さんたちにこの道を選んだきっかけや楽しいこと、大変なことなど、いろんなギモンに答えてもらいました。

反対されたけど この仕事は私に合ってる って思うから

おばあちゃん子で、幼い頃からお年寄りとおしゃべりするのが好きだったから、そういうお仕事に就こうと思って進学しました。実は親戚に反対されたんですよ。介護職は体力的にも精神的にもしんどいよ、って。でも私にはこれが合ってると思うんです。お年寄りってほんとにいろんなことを知ってるんですよ。こうしてみたらどうやる、とか、こんな歌があるよ、とか。“経験値”って言葉じゃ表現できないほど思考の引き出しが豊かで、いつも勉強になります。



ヨシムラ

助け、助けられた。 地域で僕ができることって 何だろう

ある日、道で倒れているおじいさんを助けたことがあって、地域の人たちにすごく感謝されたんです。ところがその後、今度は僕が公園で骨折して…。その場にいた人たちがすぐに駆けつけて助けてくれたんですけど、皆さんの親切心がしみましたね。それまであまり地元愛がなかったんですが、**住み慣れた場所で年をとってもその人らしく暮らすためにはどうしたらいいのかな**、僕がその助けになれないか…って考えるようになり、この進路を選びました。



ツジモト

近すぎず遠すぎず 手を差し伸べられる距離感で

人と関わるのが好きだから将来の夢は保育士や看護師だったんですけど、祖父の介助を手伝ったことがきっかけで介護職に興味をもちました。今は学校で国家資格取得に向けて勉強中です。実習でいろんな現場に行かせてもらうのですが、時々、人との距離が近すぎるって注意されることがあります。なかなか難しいです。でも**やっぱり“ありがとう”って言われると嬉しい**から、これからも経験を積んで利用者さんだけでなく、その家族にも信頼される人になりたいです。



オオタニ

人前に出るのが苦手だけど あの日の笑顔が 忘れられなくて

人前に出るのが苦手で、それを換えようと思って高校では演劇部に入りました。演劇部のボランティア活動で、老人ホームでコメディ劇を披露したことがあったのですが、**満面の笑みでたくさん拍手をもらった時に、ああ、ご高齢の方に喜んでもらえる、こういう道もあるんだ**と温かい気持ちになりました。ゆくゆくは人のためになることをしたいと思ったのが進路を決めるきっかけです。今は勉強に実習に忙しいですが充実しています。



カワイ



腰痛などを
予防するための介護技術
「ボディメカニクス」は
発見だったな。

タキガワ

ドキドキなコト 不安なコト イロイロあるけど 夢時々 ホンネ

高校は卓球部で
近畿大会までは行ったけど
あまり自分の力を
発揮できなかったから、
介護の分野では社会貢献
できるよう頑張ろうと
思ってます。

ヤマモト

将来は福祉に
携わる公務員に
なりたい。

ヤマウキ

まだまだ勉強中
びわこ学院大学
抱く夢とホンネ
だけど、夢はでっかく！
に通う学生さんたちが
を聞きました。

母が祖母を介助する
姿を見て私もいつか
親を支えないと
って思いました。

自分はあがり症だけど
どんな時でも慌てず焦らず
対応できる人になりたい。

サポートを受けたくても
受けられない高齢者を
少しでも減らしたい。

いまは色々と
覚えることが多くて
大変(汗)

コバヤシ

ケアマネの仕事と家庭を
両立しているお母さん、
かっこいいなって
思ってる。

ありがとう、って言われて
あ、これいいなって
思いました。

目を見て話すことが苦手だった。
恥ずかしくて目を逸らしていたけど
今は目を見て、この人悲しいのかな、
楽しいのかな、って想像して
話しかけたりするよう
にしています。

タナカ

トタニ

実習で利用者さんを
困らせてしまった時は、
ちょっと焦りました。

イワイ

業界的に人材不足だから
私とその助けになりたい
と思って。

入浴介助で、
時々声かけを忘れちゃう
のが課題。

ノダ